



2002年3月期 第1四半期（会社説明会）

オリコン・グローバルエンタテインメント株式会社
Oricon Global Entertainment Inc.

証券コード: 4800 (NASDAQ Japan)

<http://www.oriconge.jp/>

August 27, 2001

会社概要



- **設立:** 1999年10月1日 (株式上場:ナスダック・ジャパン市場 2000年11月6日)
- **事業内容:** 音楽楽曲データベース事業、携帯端末へのコンテンツ提供(デジタルコンテンツ) 事業
- **代表者:** 代表取締役社長 小池 恒
- **発行済株式数:** 26,188株(6/29/2001) (株主数:1,054名 3/31/2001)
- **資本金:** 1,046,750千円 (11/6/2000)
- **関連会社:** (株)オリコン、(株)ドリームスピナース、Oricon DD Korea、Oricon DD Taiwan (7/1/2001)
- **売上高:** **321,224千円 (第1四半期・単独:4/1/2001～6/30/2001)**
- **経常利益:** **72,478千円 (第1四半期・単独:4/1/2001～6/30/2001)**
- **主要取引先:** [データベース部門] HMV、JBOOK、CDNOW、電通、デジキューブ、ヤフー、ライコス、ニフティ、東芝、マイクロソフト(メディアプレーヤー)、新星堂、日本テレコム、リクルート 他
[デジタルコンテンツ部門] KDDI、NTTドコモ、三井物産(J-PHONE) 他
- **従業員数:** 57名(うちパート31名、他に役員7名) 6/30/2001
- **主要取引銀行:** 三井住友(新橋)、一勧(六本木)、東京三菱(六本木)、東海(赤坂)、とみん(本店)
- **主要株主:** 小池聰行事務所(33.7%)、小池聰行(20.4%)、小池恒(9.9%)、ブルースター、DHC、NTT-X、角川書店、東芝、徳間書店、ヤフー、ソフトバンク・ファイナンス、電通ドットコム第1号投資事業有限責任組合 (3/31/2001)

大幅増収増益

【単独】 第1四半期決算ハイライト

(4/1/01~6/30/01)



科目	金額 (千円)	科目	金額 (千円)
流動資産	2,026,592	流動負債	1,003,349
現金及び預金	365,849	買掛金	107,552
売掛金・手形	334,654	短期借入金	800,000
短期貸付金	1,244,906	負債の部合計	1,003,349
固定資産	1,065,023	資本金	1,046,750
有形固定資産	102,334	法定準備金	902,150
無形固定資産	191,847	剰余金	109,367
投資等	770,841	資本の部	2,058,267
投資有価証券	523,933		
関係会社株式	210,000		
総資産	3,091,617	負債+資本	3,091,617

(試算表ベース)

単位:千円	金額	比率 (%)
売上高	321,224	100
データベース事業	77,089	24.0
デジタルコンテンツ事業	239,135	74.5
その他	5,000	1.5
売上原価	153,499	47.8
売上高総利益	167,724	52.2
販管費	92,520	28.8
人件費	47,362	
販売費	19,665	
管理費	25,492	
営業利益	75,205	23.4
営業外損益	▲2,727	
経常利益	72,478	22.6

収益構造

データベース事業(EC部門)

業界No.1であり、かつONLY ONEの強み

イニシャルフィー

- 基本的に120万円
(当初契約時のみ)

売上コミッション

- 売上に対して原則2%

レバレッジ効果大きい

デジタルコンテンツ(携帯部門)

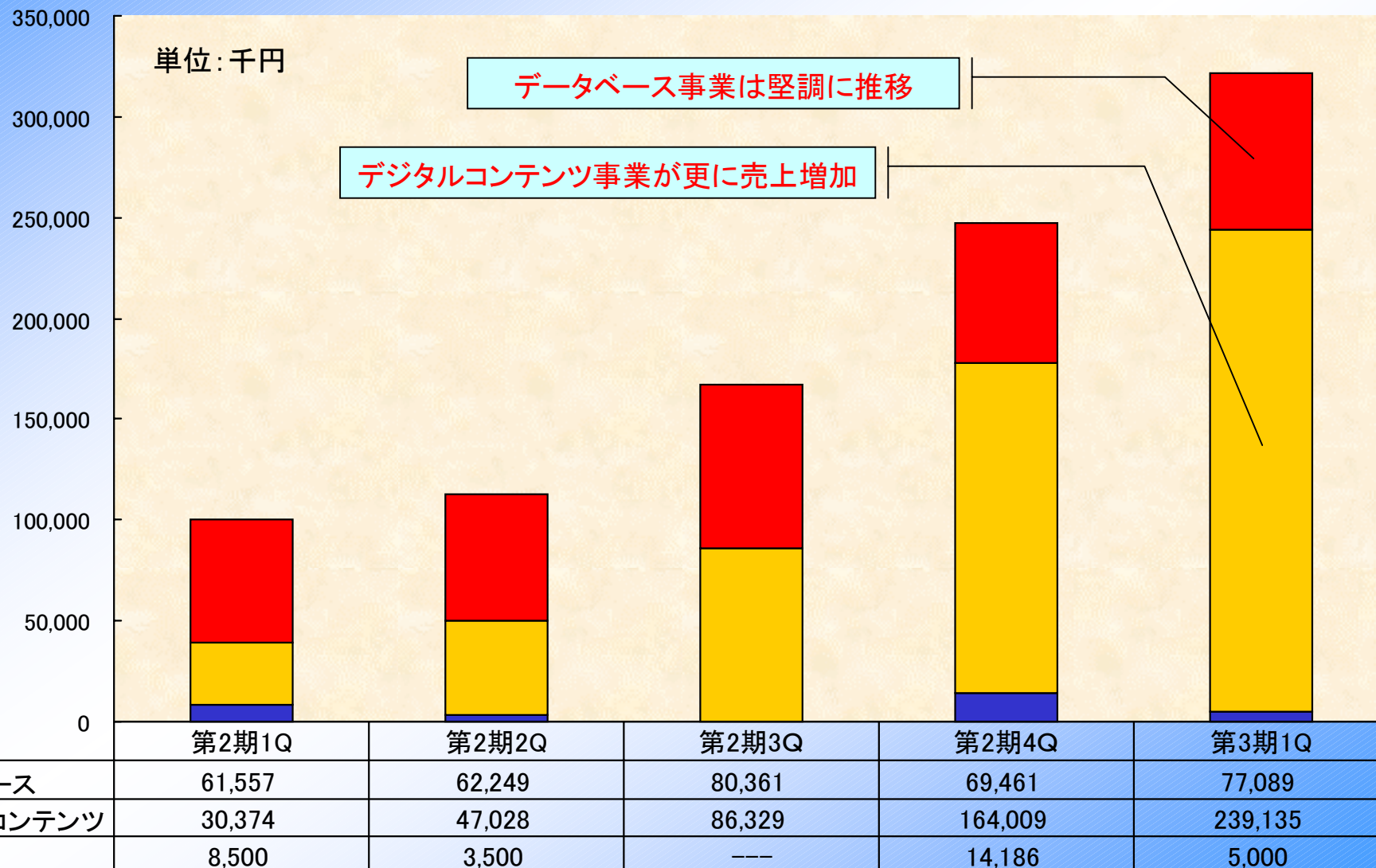
収益は積み上げ式で増加

音楽業界のECの移行
度合により加速
✓ CDのEC販売
✓ 音楽配信

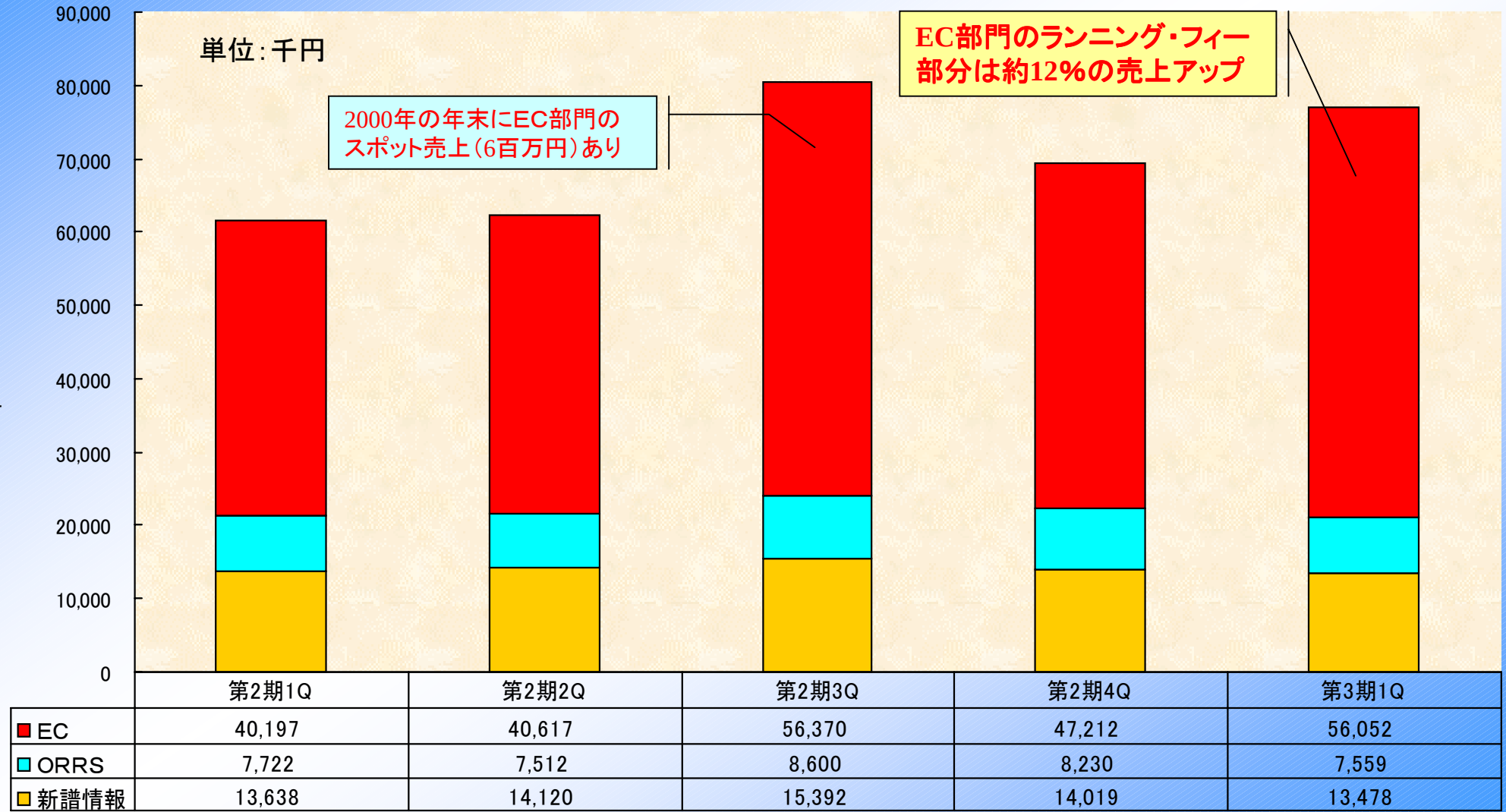
- 携帯の有料会員は、自主的に解約しない限り、毎月会費支払は継続。
- 現在有料会員は、純増基調を継続。

毎月、収益は前月を上回りながら推移

セグメント情報(売上高－単独－)

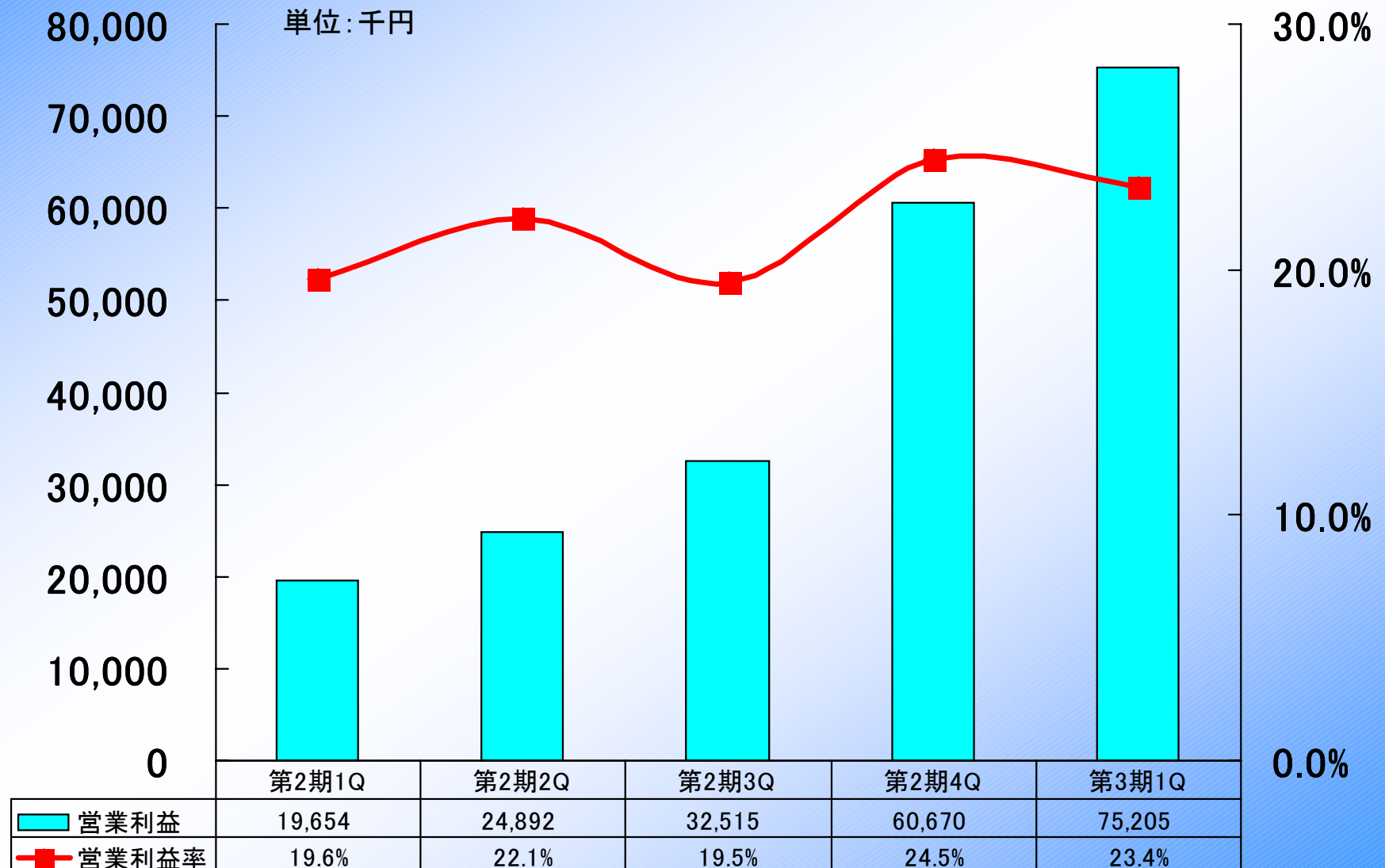


セグメント情報(データベース事業・売上高)



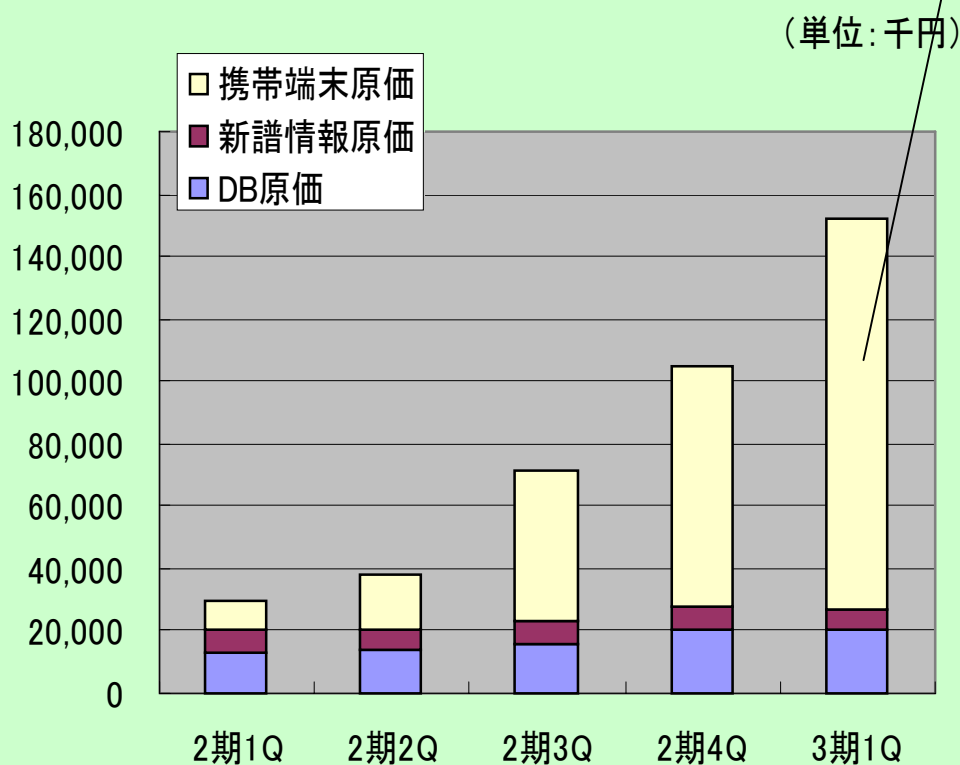
※EC: EC事業者向け、ORRS: 放送局向け、新譜情報: 紙媒体「月刊データベース」関連売上

営業利益(単独)の推移



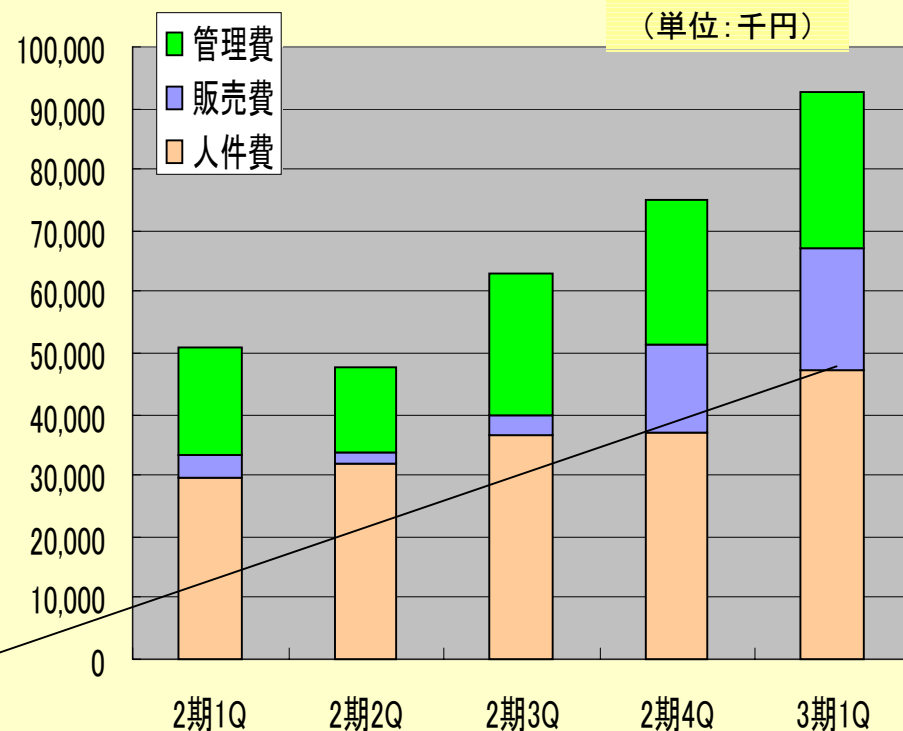
売上原価と販管費の構成(単独)

売上原価構成



着メロの売上増に比例して、変動費処理のMIDI音源外注制作費、著作権料支払が増え、携帯の原価は今回も大幅増加

販管費構成



販売費増: 携帯コンテンツの会員獲得のため、広告宣伝費増加
人件費増: コンテンツ充実のため人員増

「データベース」 Eコマース分野での主要貸出先



ジェイブック、ヤフー、HMVジャパン、CDNOW、電通、新星堂、デジキューブ、マイクロソフト、ライコスジャパン、日本テレコム、NTTコミュニケーションズ、NTT PCコミュニケーションズ、ソニー、サイバーウィング、ミュージックスター社、旭屋書店、日本レコード販売網、オムロン、東芝 iバリュークリエーション社、@ニフティ、ネオ・ウィング、日本ソフトサービス、第一興商、リクルート(ISIZE)、石丸電気、エキサイト、ジャパンディストリビューションシステム、凸版印刷、ネットコンテンツ、ハドソン、Amazon.co.jp、インプレスコミュニケーションズ 他 (2001年6月末現在)

「デジタルコンテンツ」 提供プログラム①



ORICON HITNEXT (総合音楽サイト)



今週の新着曲
⇒邦楽・洋楽併せて 60 曲 !!

今週の特集
⇒洋楽特集第二弾

今週のプレゼント
⇒この夏話題の映画にご招待

★★HITNEXT MENU★★

- ① ORICON ランキング
⇒Daily
⇒Weekly
⇒年間チャート part1
- ② じゃんるメニュー
- ③ Close Up アーティスト
- ④ 今週の特集
- ⑤ CD レビュー
- ⑥ 音楽情報
- ⑦ 今週の着信メロディランキング
- ⑧ プレゼントコーナー
- ⑨ ダイレクト検索
- ⑩ リクエストメール



スタート時期 (すべて公式サイト)

iモード 2000年1月～
EZweb 2000年8月～
J-Sky 1999年12月～
DDIポケット 2001年2月～

着信メロディ

音楽情報

JAVAアプリ・サービス

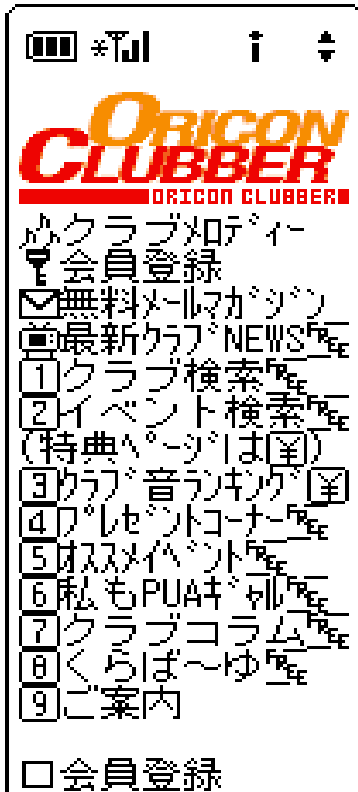
Close Upアーティスト

- ✓ オリコンチャート(Weekly、Daily、年間)から完全16和音対応の着信メロディを即ダウンロード可能。
- ✓ 新譜リリース情報やライブ情報を始めアーティスト中心の情報から総合エンターテインメント情報までを毎日配信中。
- ✓ 『CloseUpアーティスト』のコーナーでは、毎週1～2アーティストを取り上げ、「音楽情報」のコーナーと連動したプロモーションを展開。
- ✓ レコードメーカーとのタイアップにより、CDのリリース前に着信メロディの先行配信もダウンロードも随時展開。
- ✓ 『JAVA』を利用して、「ストリーミング試聴」をはじめとして、今後はアーティスト情報と連動したスケジューラー、動画によるPVやスポットの配信などユーザーニーズの高いアプリケーションの提供を準備。

「デジタルコンテンツ」 提供プログラム②



全国のCLUB約300店舗と月間約1800イベントの情報を網羅し、毎日更新！
「CLUB情報」では質量共にNo.1との評価 (旧サイト名・「全国CLUB情報」)



新宿
 CODE
 ¥500
 ¥1500
 割引き



- ✓ 店舗とイベント検索は無料で提供
- ✓ 料金は月額300円の有料会員には、CLUBでの「割引／無料」特典あり
- ✓ CLUB系サウンドの着信メロディ開始 (現在はi-modeでのみのサービス)
- ✓ CLUBでのイベントも定期的開催

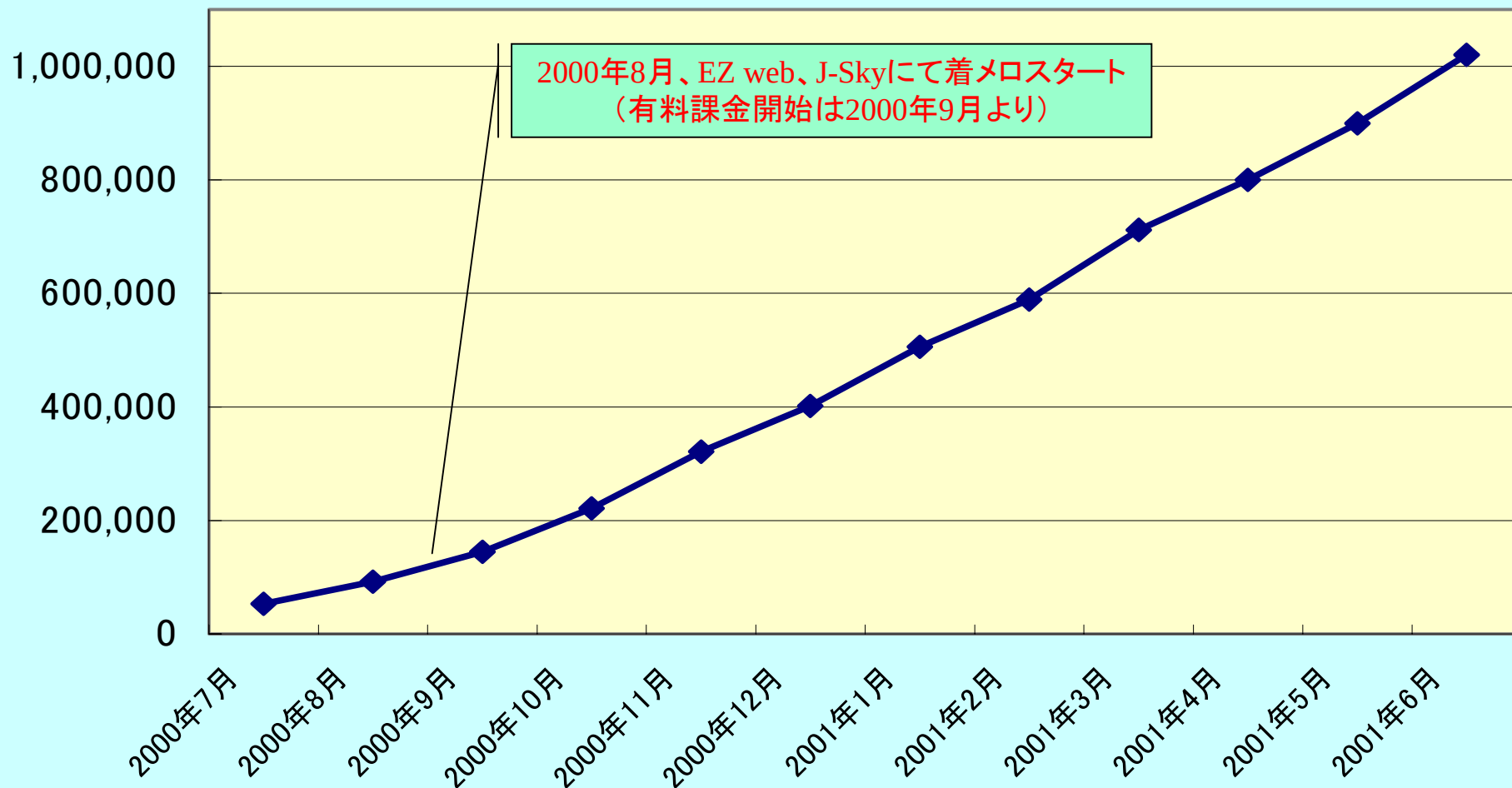
(c)2001,
 Oricon Global En
 tertainment inc.

「デジタルコンテンツ」 有料登録者総数



有料登録者総数

(単位:人)



(株)オリコンについて

【参考データ】 (株)オリコン第34期決算P/L
(連結対象外) (5/1/2000～4/30/2001)



単位: 千円	金額
売上高	1,961,267
売上原価	876,958
売上高総利益	1,084,308
返品調整引当金繰入額	▲24,813
差引売上総利益	1,059,495
販管費	1,328,854
営業利益	▲269,358
営業外損益	56,126
経常利益	▲213,232
特別損益	▲1,472,935
税引前当期利益	▲1,686,167
当期利益	▲1,730,917
前期繰越利益	1,897
当期末処分利益	▲1,729,019

(うち特別損失)
 役員退職慰労金 5,500千円
 社葬費用 67,536千円
 固定資産売却損 8,395千円
 投資有価証券評価損 7,143千円
 会員権評価損 2,584千円
 事業整理損 1,383,977千円

【参考データ】 (株)オリコン第34期決算B/S (連結対象外)(5/1/2000～4/30/2001)



科目	金額 (千円)	科目	金額 (千円)
流動資産	1,460,967	流動負債	2,735,787
現金及び預金	1,001,136	支払手形	181,310
売掛金・手形	326,076	買掛金	54,574
短期貸付金	44,670	短期+1年以内 返済長期借入金	1,835,304
固定資産	90,332	固定負債	291,804
有形固定資産	87,813	長期借入金(1年超)	291,504
無形固定資産	2,518	負債合計	3,027,591
投資等	133,495	資本金	320,000
投資有価証券	46,954	剰余金	▲1,662,795
保険積立金	38,947	資本の部	▲1,342,795
敷金保証金	31,791		
総資産	1,684,795	負債+資本	1,684,795

資本金のその後の推移は以下の
とおり (単位: 百万円)

2001年6月 320→10 (減資)

2001年7月 10→110

(オリコンGEの資本参加)

2001年8月 110→100

(オリコンGEの100%子会社化)

現在のオリコンの業績動向



不採算部門のリストラ完了



2001年5、6月の業績

(連結対象外)

売上高 264百万円

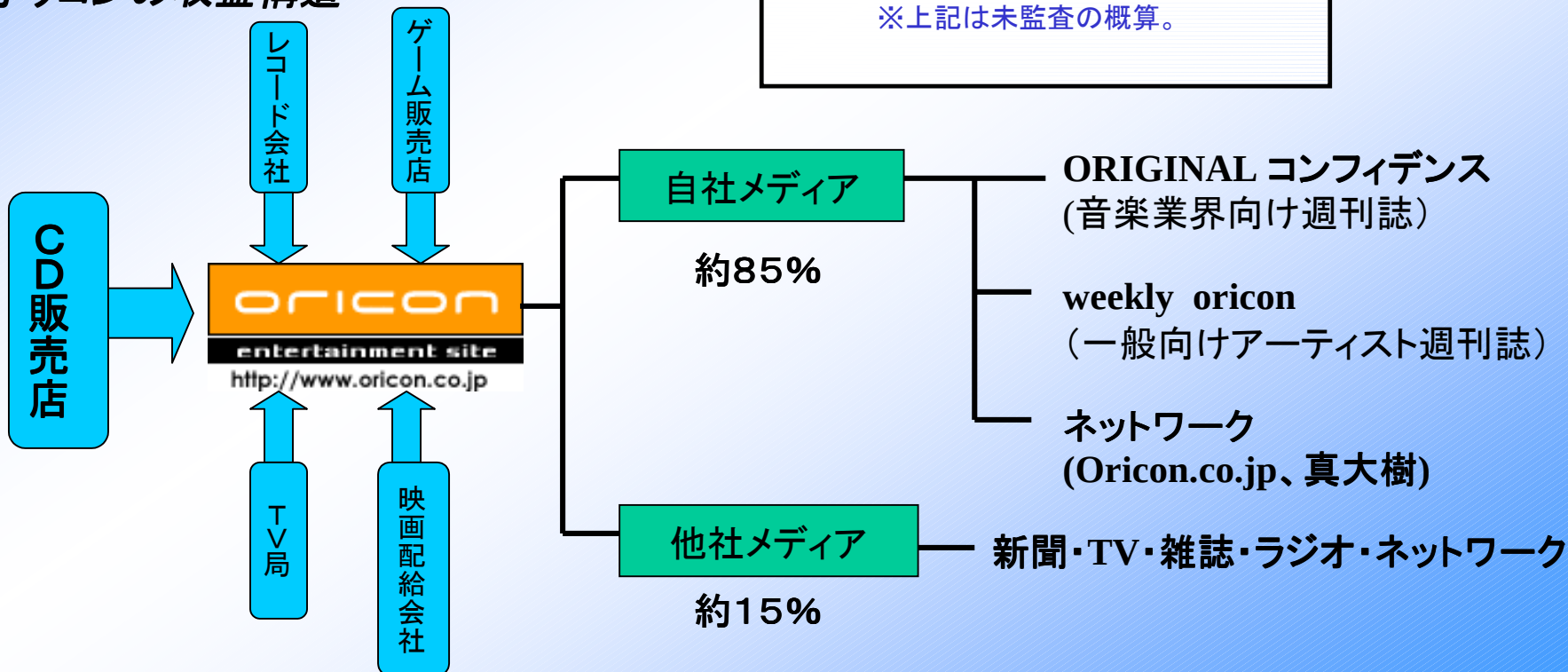
営業利益 33百万円

経常利益 25百万円

今後は
安定した収益を
上げられる見込み

※上記は未監査の概算。

※オリコンの収益構造



今後の事業戦略について

「データベース」 JMDとの提携



オリコンGE優位性の源泉

レコード会社にも残っていないデータを多く含む

収録楽曲数	戦後発売された作品のすべてを網羅 約35万タイトル以上 約350万曲以上
新作アップのスピード	信頼により確立された情報フロー
表記の統一性	30年以上に渡る作業ノウハウの蓄積
検索項目の多様性	ユーザー発の検索ニーズを熟知



(株)ジャパン・ミュージック・データ
(ジャケット写真、試聴音源)

提携

データベースの競争力の原点 = Eコマースの実用レベルへの対応力

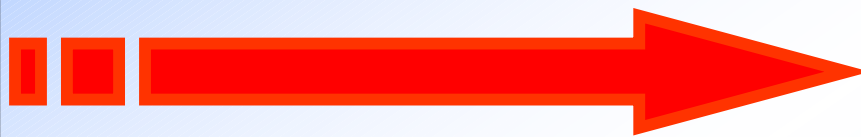
この提携により、『ジャケット写真、試聴音源』が盛り込まれ、更に優位性は増します。

※(株)ジャパン・ミュージック・データは、(社)日本レコード協会加盟レコード会社の賛同、協力を得て設立された会社で、オーディオ・ビデオ・ゲームソフト等の商品カタログデータの提供及び試聴音源並びにジャケット写真等のプロモーション音楽情報データを提供し、販売促進に寄与する事を事業目的としています。

「デジタルコンテンツ」 HMVとの提携強化



HMVとデジタル全般で戦略的に提携



オリコンGEの携帯サイト『**HITNEXT**』や
オリコンのホームページ oricon.co.jpから
HMVのサイトにリンクし、手軽にパッケージ
CDの購入が可能に！



アジア戦略でも提携！

今後アジア各地で開設する
「オリコン」の音楽ポータルサイト
と現地のHMVが提携して展開

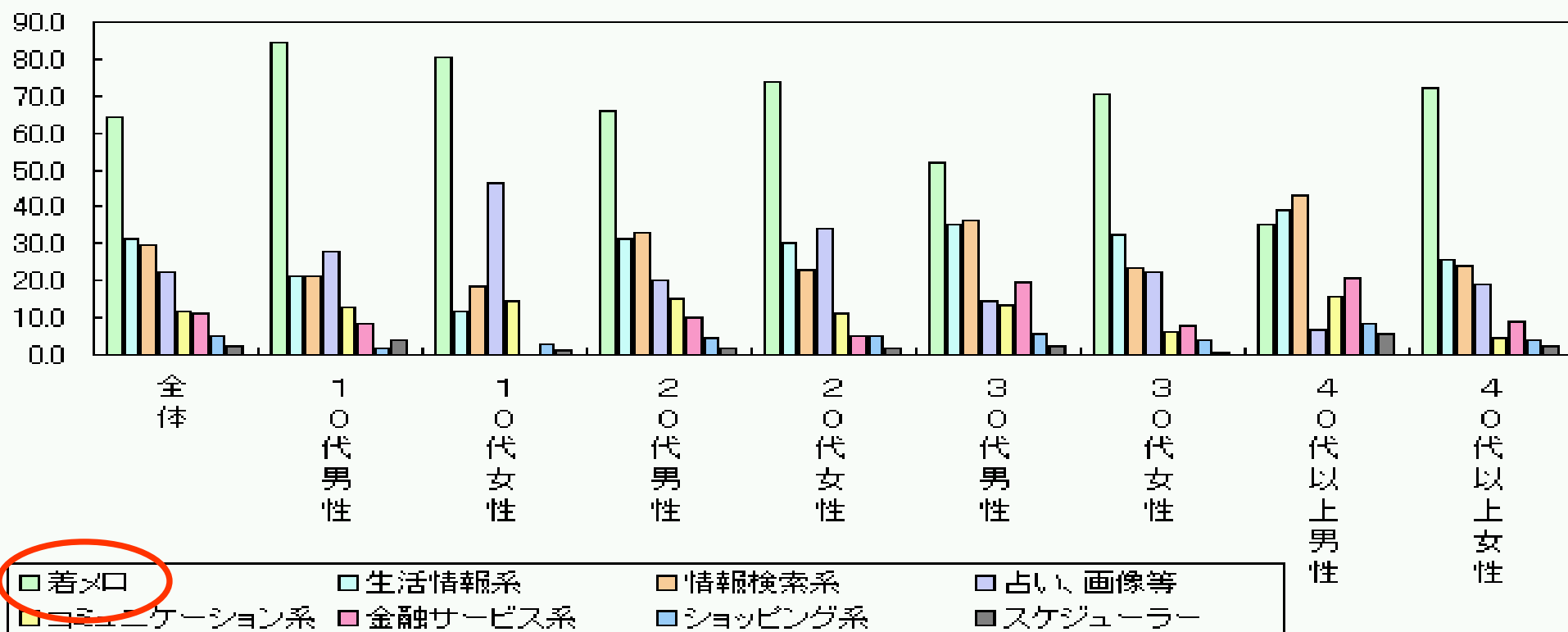
別途、売上に応じて手数料も収受

「着信メロディ」についての考察 ①

10



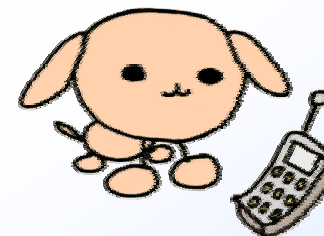
よく利用する有料コンテンツ



「着信メロディ」についての考察 ②

7

JASRAC



→

→

※音楽配信にかかる通信料試算～1曲(5MB換算)にかかる時間と通信料～

- | | | |
|-------------------|-----------|--------------|
| ・ドコモ・FOMA(パケット通信) | 速度384Kbps | 1,953円／2分10秒 |
| ・ドコモ・FOMA(データ通信) | 速度64Kbps | 140円／13分1秒 |
| ・ドコモ・M-stage | 速度64Kbps | 210円／13分1秒 |

- ・下りのみベストエフォート状態での計算。(通常はこの性能は出ない可能性大)
- ・基本料金や各種割引による料金の変動は無視。
- ・平成13年7月20日現在の各社資料に基づき、算出。
- ・(株)オリコン デジタル情報部試算

「着信メロディ」についての考察 ③



音楽業界に信頼を得ている「オリコン」が優位に展開できる！



新規事業—ソフト評価ビジネス



ブロードバンド通信の普及で
コンテンツ需要が拡大

コンテンツ制作に対する資金需要が増大
その資金ニーズは約5,000億円とも言われる。
→金融機関の融資や投資家の投資等の機会
の増加が予想される

ソフトの価値を評価する仕組みが
日本においてはまだ確立されていない。
→ソフトの評価ニーズの高まりが予想される。

ソフトの評価ビジネスの対象予定

『音楽』 『ゲーム』 『コミック』

娯楽コンテンツの事業性を評価

ソフトの評価ビジネスの必要な要素

- ①過去の実績データ
- ②ユーザーの調査
- ③リーガル面のチェック

ORICON
entertainment site
<http://www.oricon.co.jp>

オリコンの持つ
過去の売上データを
最大限に活用

☆2000年のオーディオ関係発売点数

シングル	3,991点
アルバム	13,588点
DVD	4,406点
VHS	5,789点

さらに
マーケット拡大へ！

☆2000年の家庭用ゲームソフトの発売タイトル数

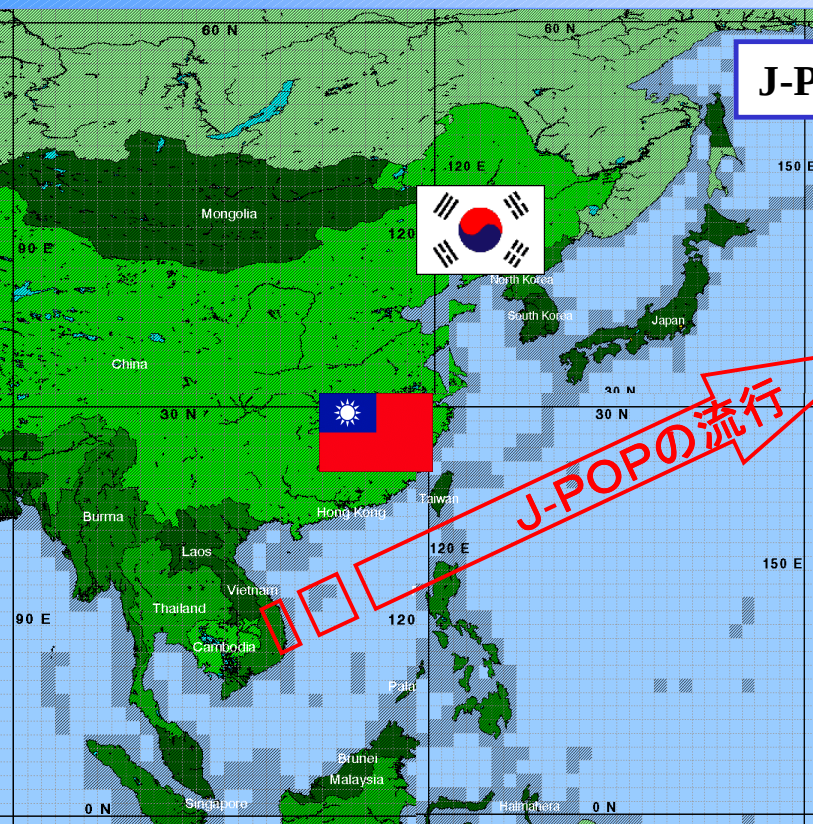
1,334点

アジア戦略 ～J-POP着メロ配信～



J-POPの着メロ配信 (5月より台湾・韓国で開始。ドリームスピナース担当)

※6月末の有料会員数 台湾 25,000人
 韓国 15,000人



★ 着メロ使用曲は、曲の版權を管理する音楽出版社をまわって許諾を得たもの。

- これが可能になったのは、音楽業界において「オリコン」が信頼され、評価されているから。
- 他にJ-POP着メロを実際に行っているのは、台湾でのヤマハだけ。ヤマハは自らの系列の音楽出版社が版權管理している楽曲を使用。

★ 今後、現地音楽の着メロも配信の予定。

★ 今秋台湾でもドコモ仕様のi-mode開始が予定され、16和音端末の発売も予定されている。



環境が整備に伴い、今後の会員増加を見込む。

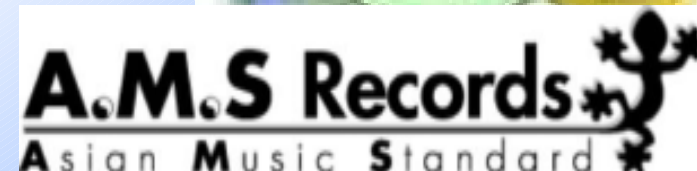
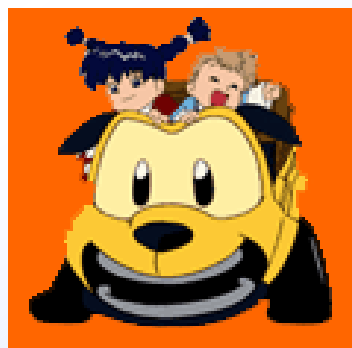


(株)ドリームスピナーズの活動



(株)ドリームスピナーズ (2001年1月連結入り)	
代表者	代表取締役社長 小林隆
資本金	85百万円
大株主	オリコンGE 55% 三井物産 10% 小林隆他役員社員等 35%
業績	(1/1～6/30/2001中間・未監査) 売上高:119百万円 経常利益:1百万円
事業	● 日本の映像コンテンツのアジアでの販売業務 ● 映像媒体の開発、企画、受託 ● 著作権管理、出版権等の管理

- ・台湾・韓国でのJ-POP着メロ配信開始(今年5月)
10月頃を目処に香港でのJ-POP着メロも開始予定。
今年秋には、台湾の携帯キャリア5社全部で開始予定。
- ・ 日本制作アニメのアジアでの放送権売買
～「ブブチャチャ」(NHK-BSにて放送中)等
- ・ AMSレコードーアジア各地の現地音楽を紹介ー



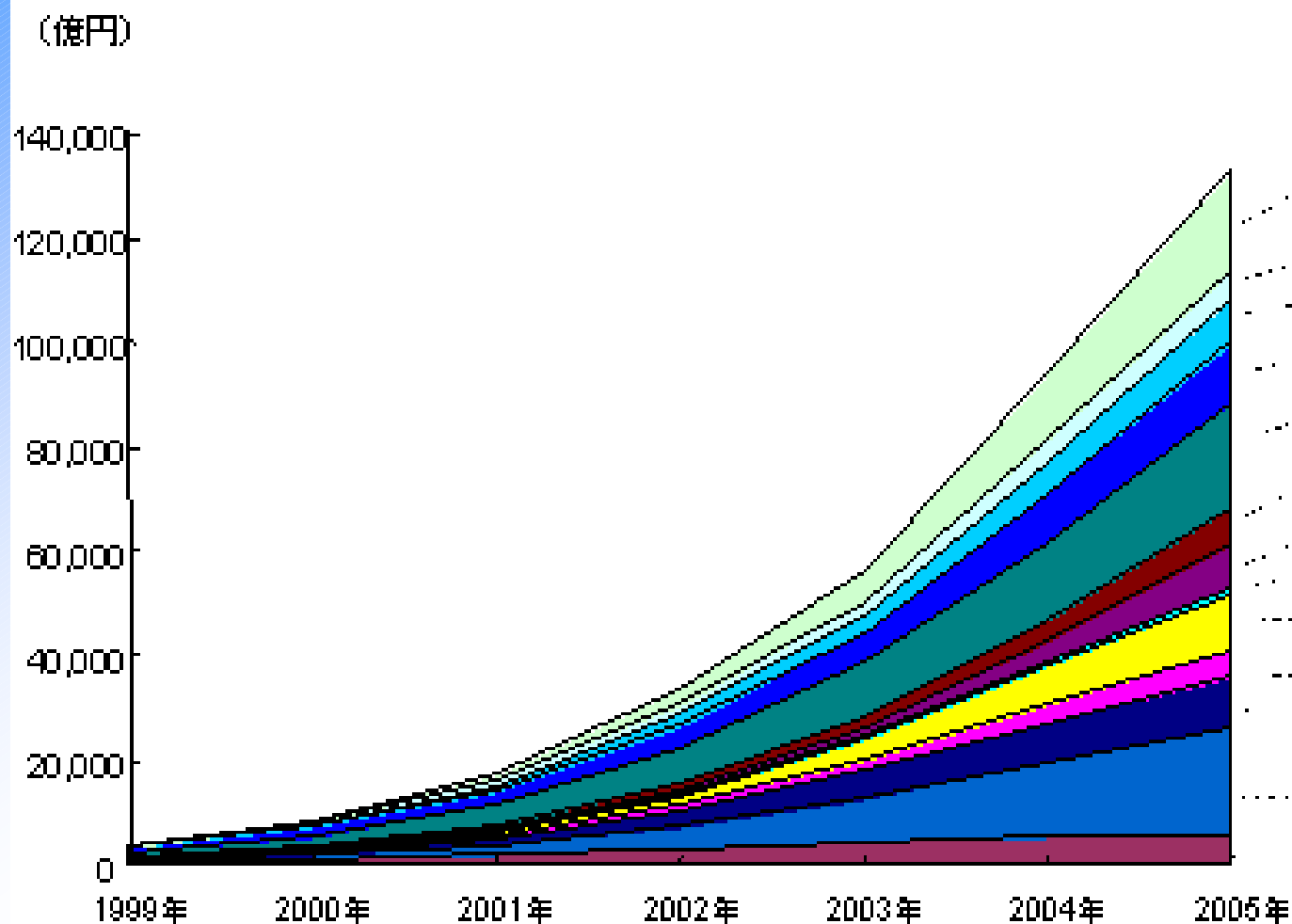
今中間期は、台湾・韓国での着メロ事業における権利者調整等の準備期間が大半。今下期以降、収益貢献を見込む。

Eコマース市場成長予測

電子商取引推進協議会 & アクセンチュア:
2001年1月31日発表資料より



B to C商品・サービスセグメント別電子商取引市場規模推移



	2005年	
	市場規模 (億円)	EC化率
全体	133,000	4.1%
サービス	19,390	1.6%
金融	5,290	6.5%
その他物販	8,330	3.7%
不動産	11,850	2.1%
自動車	20,020	19.8%
趣味・雑貨・家具	6,950	5.0%
食品	8,370	3.0%
家電商品	1,400	2.3%
衣類・ファッション	10,500	6.0%
書籍・音楽	4,950	17.7%
文楽・音楽	9,800	5.7%
旅行	20,590	13.0%
PC	5,560	29.0%